

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配付)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時:平成 31 年 2 月 13 日 (14:00)



平成 31 年 2 月 13 日
国立研究開発法人 土木研究所

「道路メンテナンス技術集団」の一員として 土研の専門家を派遣します

～鹿児島県薩摩川内市の老朽橋梁(天大橋)に対する直轄診断～

国立研究開発法人 土木研究所(理事長 西川和廣、茨城県つくば市)は、2 月 18 日、鹿児島県薩摩川内市が管理する天大橋の直轄診断において、実施主体である「道路メンテナンス技術集団」の構成員として専門家を派遣し、これまでの経験や研究により蓄積された知見・教訓を踏まえて、専門技術者の視点から技術的な助言を行います。

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

国土交通省では、地方公共団体への支援として、要請により緊急的な対応が必要かつ高度な技術力を要する施設について、地方整備局、国土技術政策総合研究所、土木研究所の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」による直轄診断※を平成26年度より実施しています。

※直轄診断

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」(道路法第13条～16条)という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が自治体からの要請に基づき地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

1. 実施日 平成 31 年 2 月 18 日 (月)

2. 対象橋梁名・実施主体

施設名	市町村名	直轄診断実施主体
天大橋(てんたいばし)	さつませんだいし 薩摩川内市(鹿児島県)	九州地方整備局

※橋梁の概要は別紙参照

3. 派遣者

- ・ 構造物メンテナンス研究センター 上席研究員 石田雅博^{いしだまさひろ}
- ・ 先端材料資源研究センター 上席研究員 古賀裕久^{こがひろひさ}

問合せ先

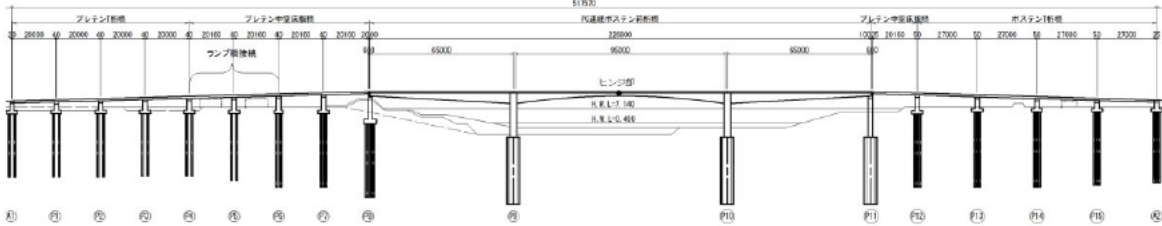
国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター(CAESAR)

橋梁構造研究グループ 石田、廣江 Tel: 029-879-6773

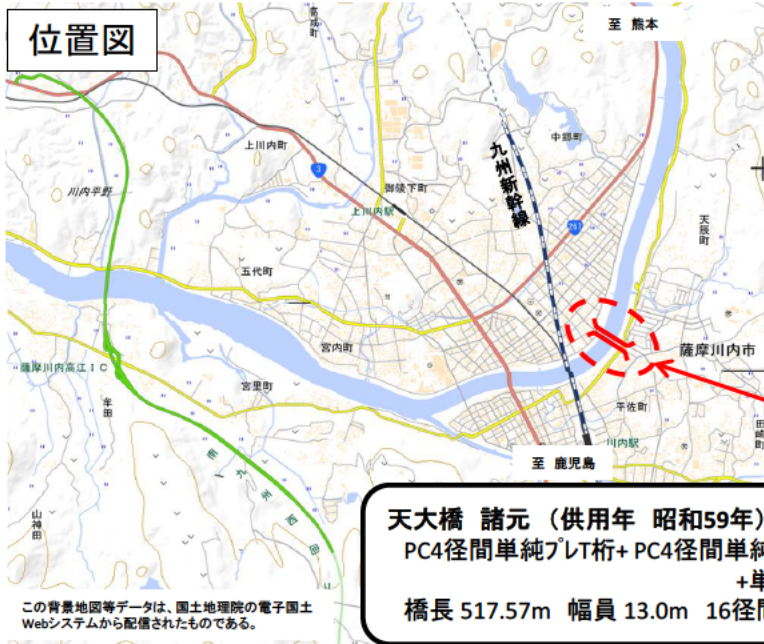
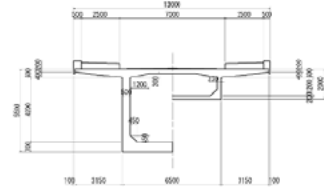
てんたいばし 天大橋の概要



側面図



断面図



緊急性・高度な技術力の
必要性
ASRによる劣化が疑われ、劣化原因の特定
や補修工法の検討に
高度な技術力が必要。

天大橋

天大橋 諸元 (供用年 昭和59年)「1984年」
PC4径間単純プレート桁+PC4径間単純プレ中空床版+PC3径間連続ボス箱桁
+単純プレ中空床版+PC4径間単純ボス桁
橋長 517.57m 幅員 13.0m 16径間

ASR: アルカリ骨材反応、水の介在によりコンクリート中の水酸化アルカリと骨材中の反応性骨材との化学反応により生成されるアルカリシリカゲルが吸水に伴う膨張によって、コンクリートにひびわれを発生させる現象をいう。